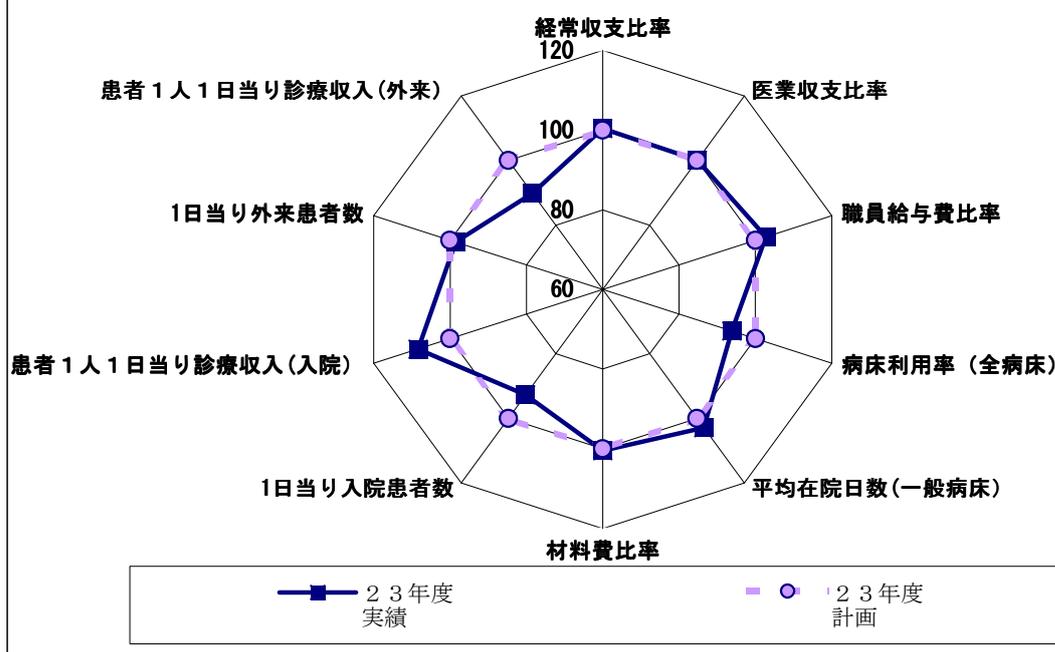


2 高岡市民病院第Ⅲ期中期経営計画(公立病院改革プラン)の進捗状況について(案)

主な経営指標の進捗状況について

		22年度実績	23年度計画	23年度実績	計画との比較		点検・評価
					↑	↓	
※1	経常収支比率 (%)	99.0	97.2	97.6	↑	0.4	県内の患者動向や、本院において異動に伴う医師数の減少により患者数が減少し収益減となった一方で、院外処方 of のさらなる推進等による材料費の減少等による費用減少により、計画値を上回った。
※2	医業収支比率 (%)	96.2	94.3	94.4	↑	0.1	
※3	職員給与費比率 (%)	48.7	48.3	49.6	↑	1.3	
	病床利用率(全病床) (%)	80.1	82.0	76.9	↓	-5.1	入院患者数の減少に伴い、病床利用率が減少したため、計画値を下回った。一方、平均在院日数については計画値を上回った。
	平均在院日数(一般病床) (日)	13.7	14.0	14.4	↑	0.4	
※4	材料費比率 (%)	22.3	22.0	22.1	↑	0.1	院外処方のさらなる推進に伴う、薬品費の減少等により、材料費は減少しているが、医業収益の減少もあり、計画値をわずかに上回った。
	1日当り入院患者数 (人)	381.4	395.0	366.0	↓	-29.0	県内の患者動向や、本院において異動に伴う医師数の減少があったことで患者数が減少し、計画値を下回った。
	患者1人1日当り診療収入(入院) (円)	41,949	39,274	42,569	↑	3,295	チーム医療の推進等により感染防止対策加算等の新たに加算を取得したことなどにより、単価が上昇し、計画値を上回った。
	1日当り外来患者数 (人)	990.4	975.0	960.5	↓	-14.5	異動に伴う医師数の減少や、開業医等との地域連携がまだ十分でなかったことなどにより患者数が減少し、計画値を下回った。
	患者1人1日当り診療収入(外来) (円)	8,736	9,545	8,572	↓	-973	院外処方のさらなる推進に伴う、薬剤料の減少等により、単価が前年比を下回り、計画値も下回った。

H23年度主な経営指標の目標値との比較



※1 経常収支比率

病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するためには、この比率が100以上であることが望ましいとされている。

$$(\text{経常収益} \div \text{経常費用}) \times 100$$

※2 医業収支比率

医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、この比率が100以上であることが望ましいとされている。

$$(\text{医業収益} \div \text{医業費用}) \times 100$$

※3 職員給与費比率

病院の職員数が適正かどうかを判断する指標で、この指標が低いほど良いとされている。

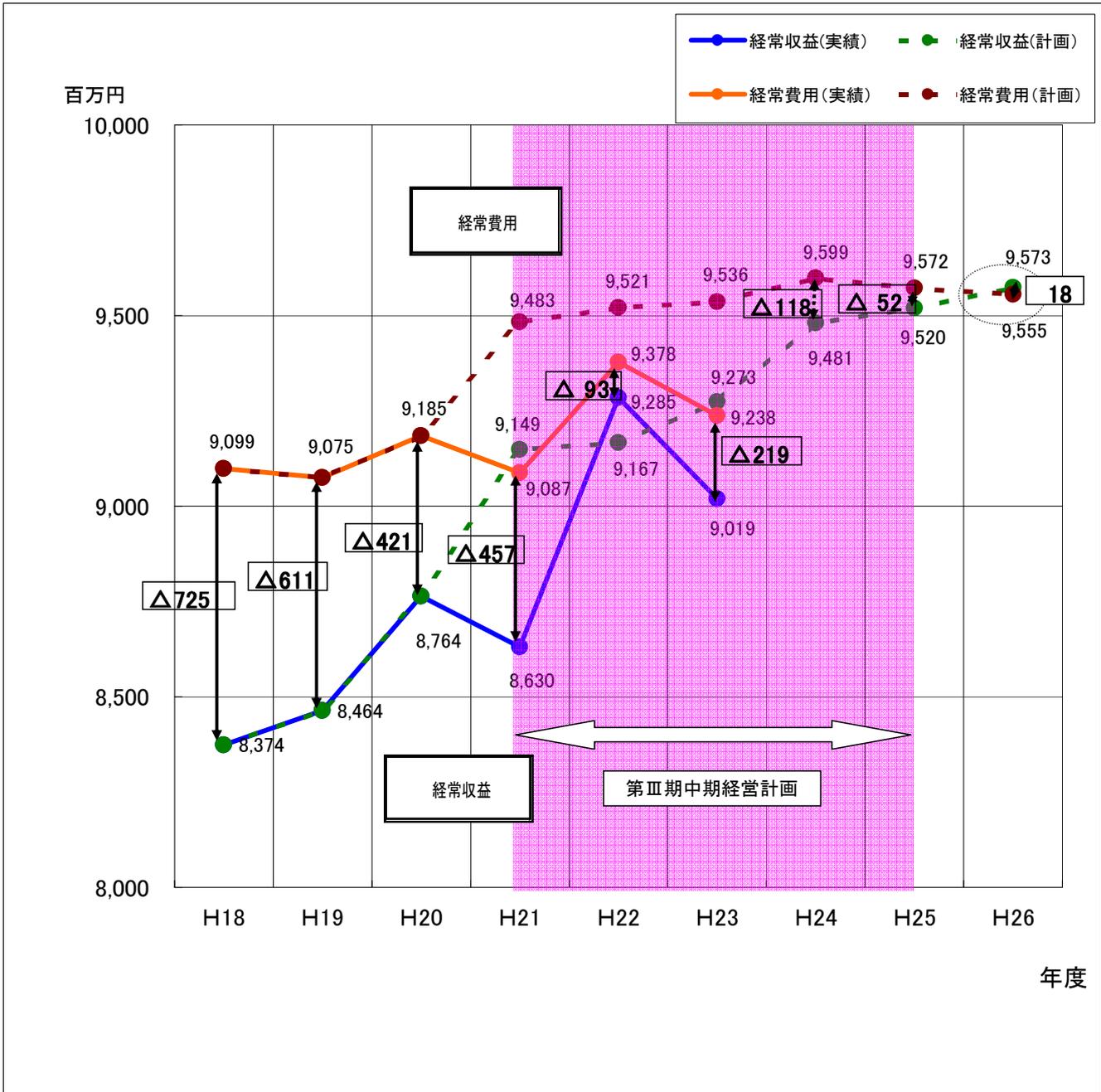
$$(\text{職員給与費} \div \text{医業収益}) \times 100$$

※4 材料費比率

材料費（薬品費＋診療材料費＋医療消耗備品費）が適正かどうかを判断する指標。

$$(\text{材料費} \div \text{医業収益}) \times 100 \quad \text{※給食材料費は含めていない}$$

■ 病院事業収支の推移



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
経常損益(百万円)	△ 1,038	△ 996	△ 869	△ 725	△ 611	△ 421	△ 457	△ 93	△ 218	△ 118	△ 52
累積欠損金(百万円)	△ 5,623	△ 6,619	△ 7,488	△ 8,214	△ 8,825	△ 9,246	△ 9,703	△ 9,796	△ 10,014	△ 10,132	△ 10,184
【参考】現金残高(百万円)	376	484	555	568	446	220	75	190	383		

※平成23年度までは決算額、平成24年度以降の経常損益は計画額、累積欠損金は実績を反映させた予測値

○第Ⅲ期中期経営計画における計画期間内の実績・計画比較 (単位:百万円)

		H21	H22	H23	H24	H25
【一部再掲】 純損益	実績	△ 457	△ 93	△ 219		
	計画	△ 334	△ 354	△ 263	△ 118	△ 52
累積欠損金	実績	△ 9,703	△ 9,796	△ 10,015		
	計画	△ 9,616	△ 9,970	△ 10,233		

※平成25年度末時点の累積欠損金予定額 10,185百万円